

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：日本紅斑熱 1例。
5類感染症：後天性免疫不全症候群 3例、破傷風 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・病名	症状等
2類	結核	都城	40歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	70歳代	男	肺結核	痰、発熱
4類	日本紅斑熱	日南	90歳代	女	—	発熱、発疹
5類	後天性免疫不全症候群	都城	20歳未満	男	無症候性キャリア	—
			30歳代	女	無症候性キャリア	—
			30歳代	男	無症候性キャリア	—
	破傷風	日南	50歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害 強直性痙攣、反弓緊張 破傷風ワクチン接種歴：不明

定点把握の対象となる5類感染症

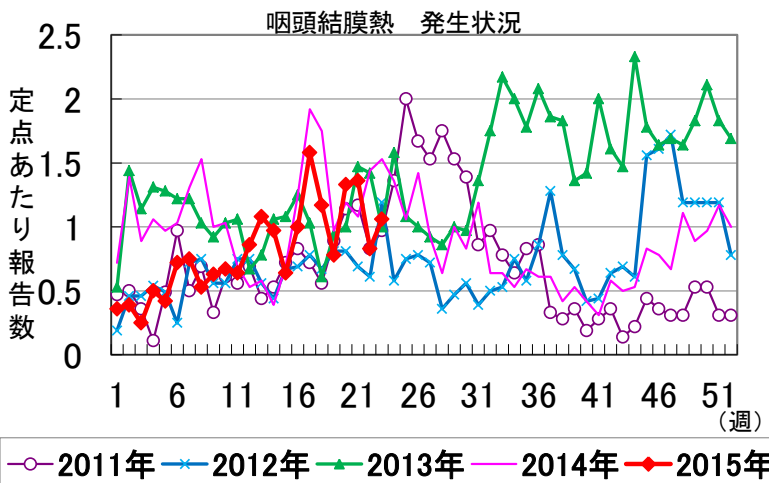
・定点医療機関からの報告総数は 851 人 (定点当たり 25.4) で、前週比 93%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

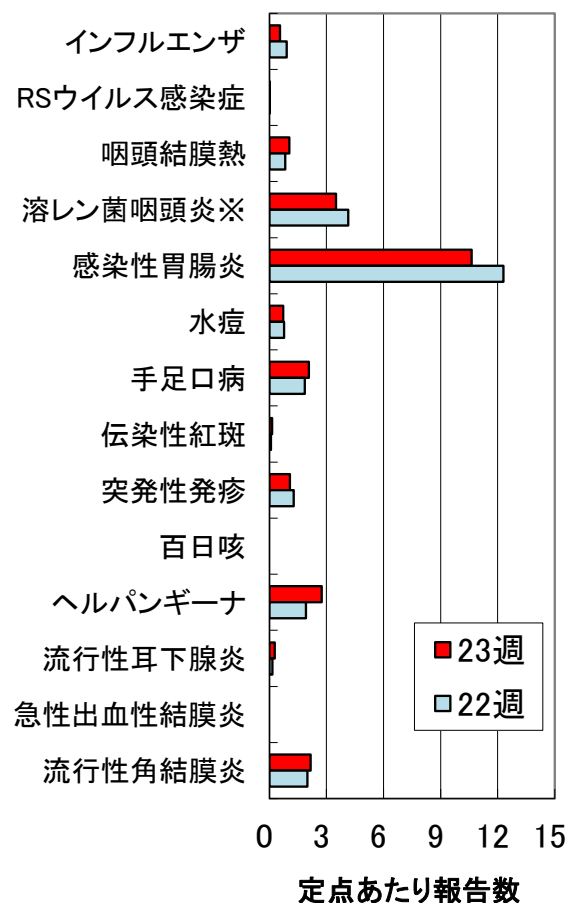
【咽頭結膜熱】

・報告数は 38 人 (1.1) で、前週比 127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.0) と同程度であった。日南 (3.0) 保健所からの報告が多く、年齢別では 3~4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



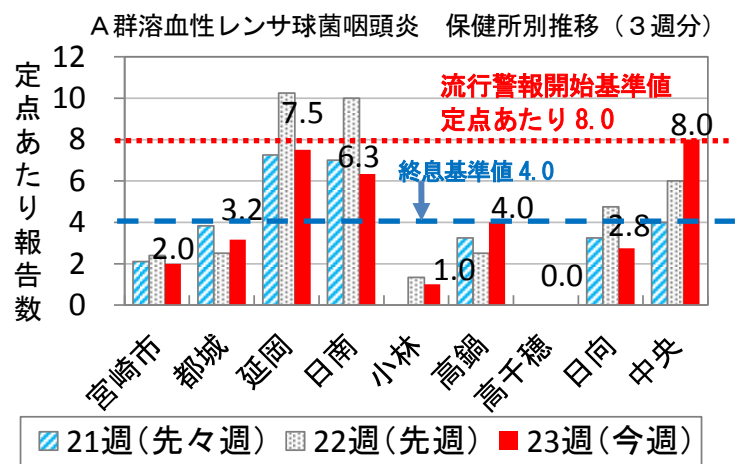
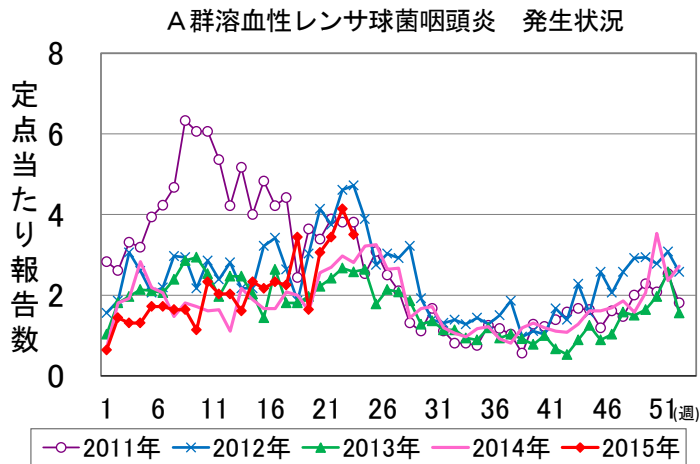
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

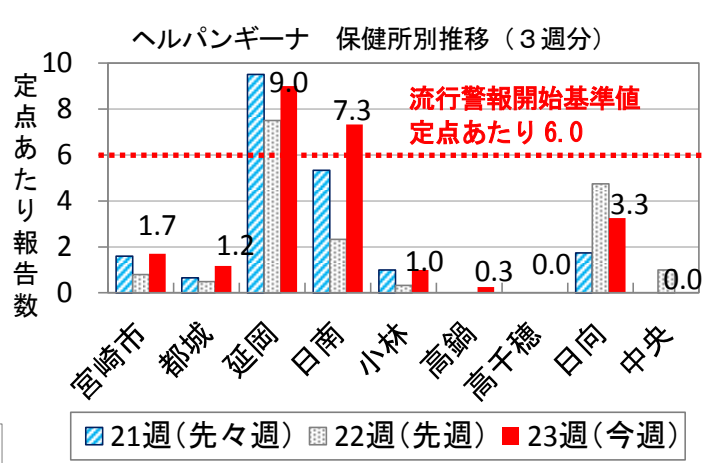
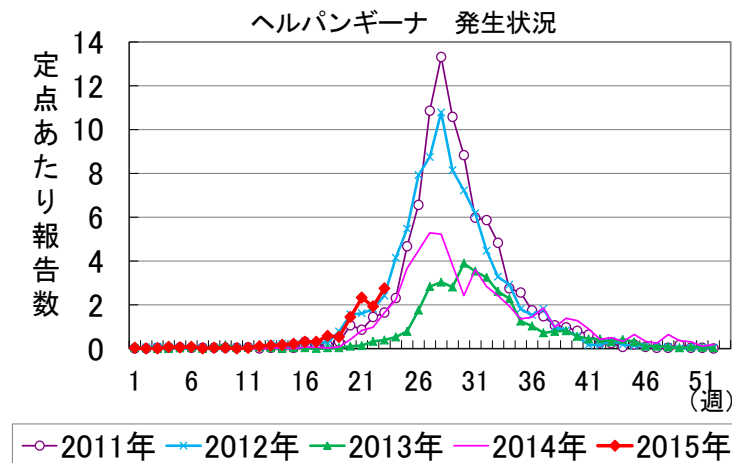
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は126人(3.5)で、前週比85%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.0)の約1.2倍と多い。中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約半数を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は99人(2.8)で、前週比143%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.1)の約1.3倍と多い。延岡(9.0)、日南(7.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(9.0)
日南	咽頭結膜熱(3.0)、ヘルパンギーナ(7.3)
小林	感染性胃腸炎(24.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、手足口病(7.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）

高鍋保健所管内で3例報告された。0～4歳が2例、50歳代が1例で、病原体の群別不明。

📊 全国第22週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第22週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	387例				
3類感染症	コレラ	1例	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	62例
	パラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	5例	デング熱	2例	日本紅斑熱	7例
	マラリア	1例	レジオネラ症	41例		
5類感染症	アメーバ赤痢	22例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23例
	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	12例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	31例	水痘（入院例）	3例
	梅毒	36例	破傷風	3例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	2例	麻しん	2例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%とやや増加した。前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

咽頭結膜熱の報告数は 2,490 人(0.79)で前週比 123%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.57)の約 1.4 倍と多かった。新潟県・北海道(各 1.6)、島根県・広島県(各 1.3)からの報告が多く、年齢別では 1～4 歳が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 6,322 人(2.0)で前週比 120%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.82)の約 2.5 倍と多い。徳島県(11.6)、香川県(6.9)、熊本県(5.5)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第23週(6月1日～6月7日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	54	33	2	12		2	14			3	
	定点あたり	0.92	0.56	0.13	1.20	0.00	0.40	2.80	0.00	0.00	0.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	30	38	8	6	2	9	1	1		10	1
	定点あたり	0.83	1.06	0.80	1.00	0.50	3.00	0.33	0.25	0.00	2.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	149	126	20	19	30	19	3	16		11	8
	定点あたり	4.14	3.50	2.00	3.17	7.50	6.33	1.00	4.00	0.00	2.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	443	383	103	62	26	51	72	23	5	27	14
	定点あたり	12.31	10.64	10.30	10.33	6.50	17.00	24.00	5.75	5.00	6.75	14.00
水痘	報告数	28	26	5	5	4			6		5	1
	定点あたり	0.78	0.72	0.50	0.83	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00	1.25	1.00
手足口病	報告数	67	75	18	5	11	11	7	5	2	9	7
	定点あたり	1.86	2.08	1.80	0.83	2.75	3.67	2.33	1.25	2.00	2.25	7.00
伝染性紅斑	報告数	3	5	3			1		1			
	定点あたり	0.08	0.14	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	46	39	16	3	4	5	2	5		4	
	定点あたり	1.28	1.08	1.60	0.50	1.00	1.67	0.67	1.25	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	69	99	17	7	36	22	3	1		13	
	定点あたり	1.92	2.75	1.70	1.17	9.00	7.33	1.00	0.25	0.00	3.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	10	3		1	1	2			1	2
	定点あたり	0.17	0.28	0.30	0.00	0.25	0.33	0.67	0.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	13	12	1							
	定点あたり	2.00	2.17	4.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	7	3						3			
	定点あたり	1.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～23週)

2類感染症	結核	94例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例(1)	マラリア	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	7例(3)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	3例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	5例(1)

()内は今週届出分、再掲